

評価項目	評価観点	事業者A	事業者B	事業者C
本人関係図（ジェノグラム・エコマップ）	<ul style="list-style-type: none"> ジェノグラムが正しく描かれているか エコマップ内に必要な機関等が過不足なく盛り込まれているか エコマップは立体的に描かれているか 	<p>ジェノグラムについては、家族関係の情報を的確に収集し、情報の範囲内で正しく描けていると認められる。Cとの関係が明確になっている点やBの実父母のほか、叔父叔母兄弟姉妹についても触れている点は良く、幅広く家族関係を当たっていることが認められる。また、エコマップについては、事例資料に出てくる機関のみならず、権利擁護機関や民生委員などにも踏み込んでおり、これらの機関の関係を整理していると認められる。各機関との関係性については、緊張関係の強弱や矢印による関係の方向性が描けていると認められる。</p> <p>ジェノグラム・エコマップは、本人を取り巻く環境や課題を、図式的に把握するための手段であるので、今後も引き続き可視性の高いジェノグラム・エコマップ作成に努めるとともに、特にエコマップについては関係機関のグループ化なども検討されると良いと思われる。</p>	<p>ジェノグラムについては、家族関係の情報を的確に収集し、情報の範囲内で正しく描けていると認められる。Cとの関係が明確になっている点や、Bの実父母のほか、他の叔父叔母兄弟姉妹についても触れている点は良く、幅広く家族関係を当たっていることが認められる。また、エコマップについては、事例資料に出てくる機関のみならず、保健福祉センターや精神科病院などにも踏み込んでおり、これらの機関の関係を整理していると認められる。さらに、これら機関の関係性を具体的な線の強弱等で描いている点は分かりやすい。一方、機関相互の関係（横のつながり）については、特に描かれておらず、どの機関が連携状態であるかという点では分かり難いといえる。</p> <p>エコマップは、関係機関の繋がりを把握し、整理する上で有効な手段であるので、今後はより立体的なものを描けるよう、機関相互の関係性を明確化すると良いと考えられる。</p>	<p>ジェノグラムについては、家族関係の情報を的確に収集し、情報の範囲内で正しく描けていると認められる。Cとの関係が明確になっている点やBの実父母のほか、他の叔父叔母兄弟姉妹についても触れている点は良く、幅広く家族関係を当たっていることが認められる。また、エコマップについては、事例資料に出てくる機関のみならず、医療機関についても踏み込んでおり、これら機関の関係を整理していると認められる。一方、これら機関の関係を線で描くことはできているものの、関係の強弱・緊張状態などは不明確であり、機関相互の関係（横のつながり）についても特に描かれておらず、関係図としてはやや分かり難さがあると思われる。</p> <p>エコマップは、関係機関の繋がりを把握し、整理する上で有効な手段であるので、今後は複数の種類の線で関係性を描いたり、機関同士の関係性を描くなど、より立体的なものにしていくことが必要である。</p>
課題明確化	<ul style="list-style-type: none"> 本人の主訴が明確にされているか 解決すべき事項が明確にされているか 本人が主張していない隠れた問題を探し出せているか 	<p>限られた情報から状況把握に努めており、その状況をもとに考えられる課題を客観的に整理できていると認められる。特に、権利擁護の必要性に言及できている点も良い。一方、母の精神的な支援については、民生委員との連携についての言及ができていないものの、全般的な課題設定としてやや物足りなさがあると思われる。</p> <p>今回の事例では、母がすべてを背負おうとしており、支援を受けようとしなない傾向があるため、支援メニューを示しても拒否される可能性がある。このため、支援の方法の一つに母の精神的支援を加え、精神的な安定を図りながら、いかに利用へ繋げていくかについての課題検討も必要であると思われる。</p>	<p>限られた情報から状況把握に努めており、その状況をもとに考えられる課題を客観的に整理できていると認められる。特に、課題を具体的なニーズごとに、表でまとめている点は分かりやすい。さらに、母の精神的な問題についても、保健福祉センターや精神科病院との連携の観点から踏み込みができておりと認められる。</p> <p>今回の事例のように、状況によっては支援のメニューを示しても、家族がすべて背負おうとするあまり、受け入れを拒否し、サービス利用に繋がらないこともあるので、インフォーマルなものも含めて、総合的にサービス調整を図っていくことが大切である。</p>	<p>限られた情報から状況把握に努めており、その状況をもとに考えられる課題を客観的に整理できていると認められる。特に、課題を具体的なニーズごとに、表でまとめ、説明しやすいうように具体的な言葉で示している点は素晴らしい。さらに、母の精神的な問題についても、医療機関との連携の観点から踏み込みができておりと認められる。</p> <p>今回の事例のように、状況によっては支援のメニューを示しても、家族がすべて背負おうとするあまり、受け入れを拒否し、サービス利用に繋がらないこともあるので、インフォーマルなものも含めて、総合的にサービス調整を図っていくことが大切である。</p>
支援仮説	<ul style="list-style-type: none"> 支援方法に対する仮説が打ち出されているか 仮説に対する検証方法を明確にしているか 	<p>ニーズに基づく支援内容について、援助目的・支援のポイントを明確にした上で整理されていると認められる。また、全体的な目標を短期と長期に分けて定めることにより、一定の支援仮説の設定ができていると認められる。この構成は、全体を見渡せるという点で分かりやすい。一方、支援のメニューごとの最終的な到達点が、やや不明確であり、支援結果を裏付けするための検証基準が不十分であると考えられる。</p> <p>支援仮説は、支援を効率的・戦略的に行う上で重要となる要素であるので、支援仮説を明確にしていくとともに、最終的な到達点やそれに対する客観的な検証基準を定めておくことも必要であると考えられる。</p>	<p>ニーズに基づく支援内容について、援助目的・支援のポイントを明確にした上で整理されていると認められる。また、これに基づく支援メニューが具体的に定められており、一定の支援仮説の設定ができていると認められる。一方、支援のメニューごとの最終的な到達点が、やや不明確であり、支援結果を裏付けするための検証基準が不十分であると考えられる。</p> <p>支援仮説は、支援を効率的・戦略的に行う上で重要となる要素であるので、具体的な支援メニューを打ち立てていくとともに、最終的な到達点やそれに対する客観的な検証基準を定めておくことも必要であると考えられる。</p>	<p>ニーズに基づく支援内容について、援助目的・支援のポイントを明確にした上で整理されており、それが個別具体的な文章でまとめられていると認められる。また、これに基づく支援メニューが具体的に定められており、一定の支援仮説の設定ができていると認められる。一方、支援のメニューごとの最終的な到達点が、やや不明確であり、支援結果を裏付けするための検証基準が不十分であると考えられる。</p> <p>支援仮説は、支援を効率的・戦略的に行う上で重要となる要素であるので、具体的な支援メニューを打ち立てていくとともに、最終的な到達点やそれに対する客観的な検証基準を定めておくことも必要であると考えられる。</p>
関係機関リスト	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関リストが作成されているか 関係機関の役割分担が明確にされているか 	<p>サービス利用計画書に対象機関が列挙されており、これが関係機関のリストであると認められる。また、これら関係機関とエコマップとは概ね整合性があるが、行政や地域包括支援センター等との関係が不明であると考えられる。また、関係機関に何を求めるかについては、サービス内容などから読み取れるものの、リストとしていまいちであり、役割分担の明確化が不十分であると考えられる。</p> <p>相談支援事業者には、支援の進行管理を行う役割があるので、特定の機関に偏らないように留意しつつ、個別具体的な分担表を作る必要がある。また、エコマップに盛り込まれている機関についても、漏れなくその役割を十分に考慮したリストが必要であると考えられる。</p>	<p>支援体制整理表に、必要な関係機関がリスト化されていると認められるものの、エコマップに登場するすべての機関が記載されておらず、記載のない機関の立場が不明確である。また、役割分担についても、おおまかな役割が決められていると考えられるが、具体性の点で不十分である。</p> <p>相談支援事業者には、支援の進行管理を行う役割があり、どの機関に何を求めるかの役割分担を図ることが求められているので、特定の機関に偏らないように留意しつつ、なるべく多くの機関の役割を考慮し、また個別具体的な分担を示してあげることが大切である。</p>	<p>サービス利用計画書に、提供先として必要な関係機関がリスト化されており、エコマップとの整合性はあると認められる。一方、役割分担についても、サービス内容という形でおおまかな役割が決められていると考えられるが、具体性の点で不十分である。</p> <p>相談支援事業者には、支援の進行管理を行う役割があり、どの機関に何を求めるかの役割分担を図ることが求められているので、特定の機関に偏らないように留意しつつ、なるべく多くの機関の役割を考慮し、またサービス内容だけではなく、個別具体的な分担を示してあげることが大切である。</p>
支援の流れ（タイムスケジュール）	<ul style="list-style-type: none"> 支援の流れが細かく決められているか タイムスケジュールに無理がないか 	<p>サービス利用計画書に優先順位が定める欄があるが、現時点では定めはないことから、個別支援会議前で順位付けができなかったものと考えられる。一方、週間サービス計画表を作成している点については、サービス利用を分かりやすく提示していると認められ、説明資料として分かりやすい。</p> <p>関係機関の役割分担と並び、タイムスケジュールは支援の進行管理を行う上で重要であり、特にニーズに対する支援の手順は仮の案として会議前に策定しておくことは可能であり、課題を整理していく上でも有効であるので、会議前であってもスケジュールを作成しておき、それを持って会議に臨むことが必要であると考えられる。</p>	<p>個別の支援メニューの定めや支援の流れ表は作成されており、優先順位は定められていると認められるものの、具体的な期間設定はなされておらず、個別支援会議前で詳細な計画作成が困難であったものと考えられる。また、週間ケア計画表を作成している点については、サービス利用を分かりやすく提示していると認められるが、一部のサービス内容のみの言及となっており、計画表として不十分であると考えられる。</p> <p>関係機関の役割分担と並び、タイムスケジュールは支援の進行管理を行う上で重要であり、特にニーズに対する支援の手順は仮の案として会議前に策定しておくことは可能であり、課題を整理していく上でも有効であるので、会議前であってもスケジュールを作成しておき、それを持って会議に臨むことが必要であると考えられる。</p>	<p>個別の支援メニューの定めや支援の流れ表は作成されており、優先順位は定められていると認められるものの、具体的な期間設定はなされておらず、個別支援会議前で詳細な計画作成が困難であったものと考えられる。</p> <p>関係機関の役割分担と並び、タイムスケジュールは支援の進行管理を行う上で重要であり、特にニーズに対する支援の手順は仮の案として会議前に策定しておくことは可能であり、課題を整理していく上でも有効であるので、会議前であってもスケジュールを作成しておき、それを持って会議に臨むことが必要であると考えられる。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> 支援計画は分かりやすく作られているか 客観的事実と希望・考えが明確に分けられているか 	<p>限られた情報の中で、過不足なく情報がまとめられた計画書と認められる。また、個別支援計画書の内容が整然と整理され、何が満たされれば良いのかが一目で分かる内容であり、分かりやすさや客観性の点で素晴らしいものと認められる。さらに、インフォーマルなものも含めた利用計画が整理されている点は、模範的な内容である。</p> <p>相談支援では、本人・家族の気持ちに添うことが大切であるが、支援第一に進みがちであるが、その前の課題整理や支援仮説の検討も必要である。今後は、訪問や個別支援会議の前に、一歩踏みとどまって課題を客観的に整理し、その内容をもとに支援方法を示していくことも、方法の一つとして考量する必要がある。</p>	<p>限られた情報の中で、情報収集に努められ、客観的事実やニーズを整理しながら、支援のメニューを作成したと認められる。特に、本人や母の思いを酌み取るうとし、そのための背景を探ろうとした点は素晴らしい。</p> <p>相談支援では、できるだけ本人・家族に具体的情報を提供し、分かりやすく道筋を立ててあげられることが大切であり、そのためには事前の課題整理や支援仮説の検討が欠かせないと考えられる。今後は、なるべく多くの関係機関と調整を図り、多くの支援メニューを示してあげることや、見通しの立てるようなスケジュール作成をすることが大切であると考えられる。</p>	<p>限られた情報の中で、情報収集に努められ、客観的事実やニーズを整理しながら、支援のメニューを作成したと認められる。特に、計画表を説明資料として想定し、本人・家族にとって分かりやすい言葉で作成している点は素晴らしい。</p> <p>相談支援では、できるだけ本人・家族の意に添いながら、支援希望を具体的なメニューとして組み立ててあげる必要がある。また、そのメニューについても、どのような機関を使って、どれぐらいの期間で実施するのかについても、具体的に提示してあげる必要がある。今後は、関係機関との役割分担の調整や支援進行管理のためのスケジュール調整を行っていくことが、大切であると考えられる。</p>

平成21年度静岡市障害者相談支援事業評価（試行実施）支援内容に基づく評価結果 総括表

評価項目	評価観点	事業者D	事業者E	事業者F
本人関係図 (ジェノグラム・エコマップ)	<ul style="list-style-type: none"> ジェノグラムが正しく描かれているか エコマップ内に必要な機関等が過不足なく盛り込まれているか エコマップは立体的に描かれているか 	<p>ジェノグラムについては、家族関係の情報を的確に収集し、情報の範囲内で正しく描けており、Cのほか、叔父叔母兄弟姉妹の関係については明確になっているものの、Bの実父母について触れられていない点は不十分である。また、エコマップについては、事例資料に出てくる機関のみならず、就労支援機関や医療機関、民生委員などにも踏み込んでおり、これらの機関を含めて幅広く関係を整理できていると認められる。一方、これらの機関の関係性については、線の強弱により示されているものの、関係の方向性はやや不明確である。</p> <p>ジェノグラム・エコマップは、本人の人間関係や関係機関の存在を把握し、支援の道筋を立てる上で重要な要素であるので、できる限り幅広く家族関係を当てることや、関係・支援の向きを具体的な矢印等で示せると良いと思われる。</p>	<p>ジェノグラムについては、家族関係の情報を的確に収集し、情報の範囲内で正しく描けていると認められる。Cとの関係が明確になっている点や、Bの実父母のほか、叔父叔母兄弟姉妹についても触れている点は良く、幅広く家族関係を当たっていることが認められる。また、エコマップについては、事例資料に出てくる機関のみならず、民生委員・医療機関・各サービス事業所などにも踏み込んでおり、これらの機関の関係を整理している点と認められる。ただし、各機関との繋がりについては、一部、矢印などを用いて図式化しているものの、関係の強弱や緊張の度合いが分かり難くなっている。</p> <p>エコマップは、関係機関の繋がりを把握し、整理する上で有効な手段であるので、今後はより立体的なものを描けるよう、関係性を明確化すると良いと考えられる。</p>	<p>ジェノグラムについては、家族関係の情報を的確に収集し、情報の範囲内で正しく描けており、Cのほか、兄弟姉妹との関係については明確になっているものの、Bの実父母について触れられていない点は不十分である。また、エコマップについては、事例資料に出てくる機関のみならず、知人や親の会（団体）なども考慮しており、これらの機関を含めて幅広く関係を整理できていると認められる。一方、これらの機関の関係性については、関係性がないということではほとんど線で結んでいないが、そもそも関係があるのか・ないのかやどのような関係になっているかという点で不明確であると言わざるを得ない。</p> <p>ジェノグラム・エコマップは、本人の人間関係や関係機関の存在を把握し、キーパーソン・キー支援機関を検討する上で重要な情報であるので、できる限り幅広く家族関係を当てることや、関係性の明確化（線以外の記号などを含んだ表現方法の採用）・支援の向きを具体的な矢印等で示すことなどに取組む必要があると思われる。</p>
課題明確化	<ul style="list-style-type: none"> 本人の主訴が明確にされているか 解決すべき事項が明確にされているか 本人が主張していない隠れた問題を探し出せているか 	<p>限られた情報から状況把握に努めており、その状況をもとに考えられる課題を客観的に整理できていると認められる。特に、金銭面や余暇活動の必要性に言及できている点は良い。さらに、母の精神的な支援について、精神科病院や地域ボランティア・民生委員の活用を考慮しており、課題としての踏み込みができては素晴らしい。</p> <p>今回の事例のように、状況によっては支援のメニューを示しても、家族がすべて背負おうとするあまり、受け入れを拒否し、サービス利用に繋がらないこともあるので、インフォーマルなものも含めて、総合的にサービス調整を図っていくことが大切である。</p>	<p>限られた情報から状況把握に努めており、その状況から考えられる課題を客観的にまとめており、具体的な表にまとめていると認められる。特に、金銭面や支援者の確保、新たな生活の場の必要性に言及できている点は良い。さらに母の精神的な問題について、介護軽減の観点で踏み込みができており、保健所・民生委員・配色サービスなどの活用についての言及している点は素晴らしい。</p> <p>今回の事例のように、状況によっては支援のメニューを示しても、家族がすべて背負おうとするあまり、受け入れを拒否し、サービス利用に繋がらないこともあるので、インフォーマルなものも含めて、総合的にサービス調整を図っていくことが大切である。</p>	<p>限られた情報から状況把握に努めており、その状況をもとに考えられる課題を、AとBの別に支援の順に整理できていると認められる。特に、金銭面や余暇活動の必要性に言及できている。また、母の精神的な支援について、介護軽減の観点で踏み込みができており、医療機関・地域団体・民間サービスなどの活用についての言及もできている点は素晴らしい。</p> <p>今回の事例のように、状況によっては支援のメニューを示しても、家族がすべて背負おうとするあまり、受け入れを拒否し、サービス利用に繋がらないこともあるので、インフォーマルなものも含めて、総合的にサービス調整を図っていくことが大切である。</p>
支援仮説	<ul style="list-style-type: none"> 支援方法に対する仮説が打ち出されているか 仮説に対する検証方法を明確にしているか 	<p>ニーズに基づく支援内容について、援助目的・支援のポイントを明確にした上で整理されていると認められる。また、2次アセスメントの内容設定により、一定の検証方法が決められていると認められる。一方、支援のメニューごとの最終的な到達点が、やや不明確であるため、支援結果を裏付けするための検証基準が不十分であると考えられる。</p> <p>支援仮説は、支援を効率的・戦略的に行う上では重要となる要素であるので、最終的な到達点やそれに対する客観的な検証基準を定めておくことが必要である。</p>	<p>大まかな要望を立てた上で、それを実現するための具体的な課題と支援内容・流れ・方法が明確に整理されていると認められる。特に、本人等のニーズと支援者の視点から課題が対比されており、対比的に仮説が立てられているのは素晴らしい。一方、支援のメニューごとの最終的な到達点については、解決すべき課題として整理されていると認められるものの、支援結果を裏付けするための検証基準が不十分であると考えられる。</p> <p>支援を効率的・戦略的に行う上では、予想を定めておき、結果との差を確認しながら支援を展開していくことが大切なので、最終的な到達点に対する客観的な検証基準を定めておくことが必要である。</p>	<p>基本的な情報から推測される問題点について、課題と目標を設定し、それに対する具体的な支援メニューを整理していると認められる。また、具体的な課題に対する支援方法について、矢印を用いて順序立てており、結果を確認しながら支援を進めていくものと考えられる。一方、最終的な結果については、大まかな目標は立てられているものの、支援のメニューごとの最終的な到達点や支援結果を裏付けするための検証基準の設定はなく、不十分であると考えられる。</p> <p>支援仮説は、支援を効率的・戦略的に行う上では重要となる要素であるので、具体的な支援メニューごとに最終的な到達点やそれに対する客観的な検証基準を定めておくことが必要である。</p>
関係機関リスト	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関リストが作成されているか 関係機関の役割分担が明確にされているか 	<p>サービス利用計画書に対象機関が列挙されており、これが関係機関のリストであると思われる。また、これら関係機関とエコマップとは整合性があると認められる。一方、関係機関に何を求めるかについては、サービス内容などから一部読み取れるものの、全般的にあいまいであり、役割分担の明確化が不十分であると思われる。</p> <p>相談支援事業者には、支援の進行管理を行う役割があり、どの機関に何を求めるかの役割分担を図ることが求められているので、特定の機関に偏らないように留意しつつ、個別具体的な分担表を示してあげることが大切である。</p>	<p>関係機関リストに対象機関が列挙されており、どこと連携すれば良いかが分かりやすくまとめられていると認められる。また、これら関係機関とエコマップとは整合性があると認められる。さらに、それぞれの機関の役割が決まられており、どこの機関が何を行うかの整理が図られていると認められる。</p> <p>関係機関リストは、本人や家族等への示す支援の案内書でもあるので、今後は分かりやす言葉・内容で記載し、いざというときに直ぐに活用できるように整理しておくことが必要である。</p>	<p>支援計画に依頼関係機関が列挙されており、これら関係機関で支援が進められるものと認められる。また、これら関係機関とエコマップとは概ね整合性があると認められる。一方、関係機関に何を求めるかについては、サービス内容などから読み取れるものの、ややあいまいである。このため、役割分担の明確化が不十分であると考えられる。</p> <p>相談支援事業者には、支援の進行管理を行う役割があるので、特定の機関に偏らないように留意しつつ、個別具体的な分担表を作りたい。</p>
支援の流れ (タイムスケジュール)	<ul style="list-style-type: none"> 支援の流れが細かく決められているか タイムスケジュールに無理がないか 	<p>サービス利用計画書に優先順位が定められており、これに基づいて支援が実施されていくものと考えられる。支援は緊急性の高い順に並べられており、一貫性があるものであり、分かりやすいと認められ。一方、一日単位の流れは定められているものの、支援全体のタイムスケジュールが定められておらず、どの時点で何をするかという支援の区切りが不明確である。</p> <p>関係機関の役割分担と並び、タイムスケジュールは支援の進行管理を行う上で重要であるので、個別目標に対する期限を具体的に定める形でスケジュールを作成していくことが大切である。</p>	<p>支援計画に具体的な実施時期が定められており、これに基づいて支援が実施されていくものと認められる。また、支援は緊急性の高い順に並べられており、一貫性があるものであり、分かりやすいものとなっている。さらに、比較的長期までの支援が定められている点は素晴らしい。</p> <p>タイムスケジュールは支援の進行管理を行う上で重要であり、効果的な支援に欠くことのできないものであるため、今後もスケジュール設定に努めるとともに、関係機関リストと一体的に整理し、機関ごとのスケジュール管理を行うことも必要である。</p>	<p>支援スケジュールが定められており、これに基づいて支援が実施されていくものと認められる。支援は授所立てられており、一貫性があるものであり、さらに具体的な時期が定められている点は良く、支援の手順書として本人に示す易く構成されていると認められる。</p> <p>タイムスケジュールは支援の進行管理を行う上で重要であり、効果的な支援に欠くことのできないものであるため、今後もスケジュール設定に努めるとともに、各機関の役割や作業具合も勘案し、無理のない期間設定をしていく必要がある。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> 支援計画は分かりやすく作られているか 客観的事実と希望・考えが明確に分けられているか 	<p>限られた期間・手段の中で、積極的に情報収集に努められ、その内容を支援計画として細かくまとめていると認められる。特に、大まかに2つの大仮説に分けて、それぞれのシナリオを作成したことは唯一の例であり、非常に素晴らしい。</p> <p>相談支援では、客観的な事実に基づき、それに対する支援方法を客観的に積み上げていくことが大切である。今後は、支援に客観性を持たせていくために、検証基準や役割分担を明確にしていく必要がある。</p>	<p>限られた情報の中で、情報収集に努められ、客観的事実や支援者の視点を整理しながら、支援の流れを作成したと認められる。特に具体的な支援手順や実施時期が整理されており、個別支援会議に向けた資料となっている点は素晴らしい。また、食事が取れていない事実に対して、配食サービスの活用を考慮した点は相談支援事業者としての所有情報の広さが認められるものであり、素晴らしい。</p> <p>相談支援では、具体的な支援メニューを組み立てていくこととともに、その後の進行管理や検証作業が重要である。フィードバック体制整備の観点からも、支援後を見据えた計画作成に努める必要がある。</p>	<p>限られた情報の中で、情報収集に努められ、客観的事実を中心に整理しながら、支援の流れを作成したと認められる。特に具体的な実施時期が整理されており、個別支援会議に向けた資料となっていると認められる。また、衣食住の安定のために民間サービスの活用を考慮した点は相談支援事業者としての所有情報の広さが認められるものであり、好感の持てる内容である。さらに、母子の依存関係を見抜き、分離の必要性の検討に言及した点も素晴らしい。</p> <p>相談支援では、具体的な支援メニューを組み立てていくことも大切であるが、その後の進行管理や検証作業も重要である。フィードバック体制整備の観点からも、支援後を見据えた計画作成に努める必要がある。</p>

平成21年度静岡市障害者相談支援事業評価（試行実施）支援内容に基づく評価結果 総括表

評価項目	評価観点	事業者G	事業者H	事業者I
本人関係図 (ジェノグラム・エコマップ)	<ul style="list-style-type: none"> ジェノグラムが正しく描かれているか エコマップ内に必要な機関等が過不足なく盛り込まれているか エコマップは立体的に描かれているか 	<p>ジェノグラムについては、家族関係の情報を的確に収集し、情報の範囲内で正しく描けており、Cのほか、兄弟姉妹との関係については明確になっているものの、Bの実父母について触れられていない点は不十分である。また、エコマップについては、事例資料に出てくる機関のみならず、民生委員や親戚関係などの必要性にも踏み込んであり、これらの機関を含めて幅広く関係を整理できていると認められる。また、線の強弱や矢印、記号、説明文などにより立体的に描けており、非常に立体的で、分かりやすく描けている点は素晴らしい。</p> <p>ジェノグラム・エコマップは、本人の人間関係や関係機関の存在を把握し、キーパーソン・を検討する上で重要な情報であるので、特に家族関係については、できる限り幅広く当たり、支援候補者を見落とさないようにすることが必要であると思われる。</p>	<p>ジェノグラムについては、情報収集が不十分だったためか、残念ながら基本資料に出てくる部分でしか描けていないと思われる。また、エコマップについては、A・B・Cの別に直接関係している機関については描けているものの、A・Bにそれぞれ必要とされる他の関係機関については不十分と言わざるを得ない。さらに、それぞれの関係性についても、関係の強弱・緊張性の度合いの点で分かり難いと思われる。</p> <p>ジェノグラム・エコマップは、本人の人間関係や関係機関の存在を把握し、キーパーソン・キー支援機関を検討する上で重要な情報であるので、できる限り幅広く家族関係を当たることや、関係性の明確化（線・記号などを含んだ表現方法の採用）・支援の向きを具体的な矢印等で示すことなどに取組む必要があると思われる。</p>	<p>ジェノグラムについては、家族関係の情報を的確に収集し、情報の範囲内で正しく描けていると認められる。Cとの関係が明確になっている点や、Bの実父母のほか、他の叔父叔母兄弟姉妹についても触れている点は良く、幅広く家族関係を当たっていることが認められる。また、エコマップについては、事例資料に出てくる機関のみならず、民生委員や保健所などにも踏み込んでおり、これらの機関の関係を整理していること認められる。一方、各機関との関係性については、緊張関係を線の強弱により描くことはできているものの、支援の方向性（矢印）は不明確であり、機関相互の関係（横のつながり）も分かり難いといえる。</p> <p>エコマップは、関係機関の繋がりを把握し、整理する上で有効な手段であるので、今後はより立体的なものを描けるよう、支援の方向性や機関相互の関係性を明確化すると良いと考えられる。</p>
課題明確化	<ul style="list-style-type: none"> 本人の主訴が明確にされているか 解決すべき事項が明確にされているか 本人が主張していない隠れた問題を探し出せているか 	<p>限られた情報から状況把握に努めており、その状況をもとに考えられる課題を一定程度、客観的に整理できていると認められる。また、Bの精神的な支援についての課題明確化もできており、保健福祉センターや精神の相談支援事業者の活用を考量しようとしている。一方、金銭面や権利擁護などといった点への踏み込みが不足しており、支援方法の中心がサービス利用になってしまっている点はやや見受けられる。</p> <p>今回の事例では、母がすべてを背負おうとしており、支援を受けようとしめない傾向があるため、支援メニューを示しても拒否される可能性がある。このため、サービス利用だけでは支援が進まない恐れがあるので、今後は、母の気持ちに添いつつ、精神的な安定を図りながら、いかに利用へ繋げていくかについての課題検討も必要であると思われる。</p>	<p>残念ながら、課題についての言及はほとんど見受けられない。個別支援会議後に課題を整理するという点で、この時点では課題は分からないということのようである。</p> <p>今回の事例は、個別支援会議を行う前での課題整理という、非常に限定的な条件下であったが、まずは限られた情報の中から課題を整理していくことが、必要であると思われる。また、支援の始まりが個別支援会議であることは理解できるものの、会議の前であっても、予想される課題をある程度、整理しておくことは、効率的な支援の観点からも有効であると考えられる。</p>	<p>限られた情報から状況把握に努めており、その状況をもとに考えられる課題を客観的に整理できていると認められる。特に、課題やニーズが具体的な言葉で表にまとめている点が良い。また、金銭面の問題や母の精神的な問題について、それぞれ生活保護や精神相談の観点から踏み込みができていくと認められる。</p> <p>今回の事例のように、状況によっては支援のメニューを示しても、家族がすべて背負おうとするあまり、受け入れを拒否し、サービス利用に繋がらないこともあるので、インフォーマルなものも含めて、総合的にサービス調整を図っていくことが大切である。</p>
支援仮説	<ul style="list-style-type: none"> 支援方法に対する仮説が打ち出されているか 仮説に対する検証方法を明確にしているか 	<p>援助目標と支援内容・方法を、短期と長期に分けた上で整理されていると認められる。これにより、一定の支援仮説の設定ができている。特に本人と各機関との調整に力点が置かれている点は好感の持てる内容である。一方、支援のメニューごとの最終的な到達点が十分に示されておらず、支援結果を裏付けするための検証基準が不十分である。また、インフォーマルな支援策の説明もやや物足りなさがある。</p> <p>支援仮説は、支援を効率的・戦略的に行う上では重要となる要素であるので、特に個別の目標を設定し、支援仮説を明確にする必要がある。また、最終的な到達点やそれに対する客観的な検証基準を定めておくことも必要である。さらに、幅広い支援メニューを提示できるよう、支援仮説を多く打ち立てていくことも大切である。</p>	<p>残念ながら、支援仮説についての言及は見受けられない。</p> <p>課題明確化と同様、会議の前であっても、可能性のある支援方法を予め準備しておくことは、会議の場で支援のメニューをする際に有効であると考えられる。</p>	<p>それぞれの課題に対し、客観的な情報と考えらるニーズとを立てた上で、それを実現するための具体策がアセスメントとして整理されていると認められる。特に、本人等のニーズと支援者の視点から課題が併記されており、対比的に仮説が立てられているの点は興味深く、模範的な内容である。一方、支援のメニューごとの最終的な到達点については、支援計画の援助目標の欄で具体的に定めている点は良いが、支援結果を裏付けするための検証基準が不十分であるといえる。</p> <p>支援を効率的・戦略的に行う上では、予想を定めておき、結果との差を確認しながら支援を展開していくことが大切なので、最終的な到達点に対する客観的な検証基準を、予め定めておくことが必要であると考えられる。</p>
関係機関リスト	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関リストが作成されているか 関係機関の役割分担が明確にされているか 	<p>関係機関リストに対象機関が列挙されており、どこも連携すれば良いかが、分かりやすくまとめられており、エコマップとの整合性も取れていると認められる。また、それぞれの機関の役割が細かく決められており、一体的な支援が期待できると考えられる。さらに、知的・精神の相談機関との共同作業を考慮している点は、地域連携を見据えたものと考えられる。一方で、民生委員などとの連携が考慮されていない点は残念である。</p> <p>今後は、直接支援に携わっていない機関（インフォーマルな機関も含む）へも積極的に声をかけ、これら機関とも役割を分かち合いながら支援をしていく必要があると考えられる。</p>	<p>関係機関リストは、エコマップに記載があるのみと思われる。また、残念ながら、役割分担についての言及は見受けられない。</p> <p>相談支援事業者には、支援の進行管理を行う役割があり、どの機関に何を求めるかの役割分担を図ることが求められているので、特定の機関に偏らないように留意しつつ、個別具体的な分担表を示してあげることが大切であると認められる。</p>	<p>支援計画書にサービス提供機関が列挙されており、これが関係機関のリストであると認められる。また、これら関係機関とエコマップとは概ね整合性がある。一方、役割分担については、ケア計画（検討）表にサービス内容と提供先が示されており、おおまかな役割が決められていると考えられるが、具体性の点で不十分である。</p> <p>相談支援事業者には、支援の進行管理を行う役割があり、どの機関に何を求めるかの役割分担を図ることが求められているので、特定の機関に偏らないように留意しつつ、個別具体的な分担表を示してあげることが大切である。</p>
支援の流れ (タイムスケジュール)	<ul style="list-style-type: none"> 支援の流れが細かく決められているか タイムスケジュールに無理がないか 	<p>タイムスケジュールが定められており、これに基づいて支援が実施されていくものと認められる。支援は緊急性の高い順に並べられており、一貫性があるものであり、さらに具体的な日時が定められている点は素晴らしい。</p> <p>タイムスケジュールは支援の進行管理を行う上で重要であり、効果的な支援に欠くことのできないものであるため、今後もスケジュール設定に努めるとともに、各機関の役割や作業具合も勘案し、無理のない期間設定を考慮していく必要がある。</p>	<p>残念ながら、支援の流れについての言及は見受けられない。</p> <p>関係機関リストと同様、相談支援事業者には、本人・家族の希望に合わせた、無理のない支援スケジュールを、制度横断的に調整する役割があるので、各機関の役割や作業具合も勘案し、無理のないスケジュールを設定していく必要があると考えられる。</p>	<p>個別の支援メニューの定めや支援の流れ表は作成されているものの、具体的な期間設定はなされておらず、個別支援会議前で順位付けができなかったものと考えられる。一方、週間ケア計画表を作成している点については、サービス利用を分かりやすく提示していると認められ、説明資料として分かりやすい。</p> <p>関係機関の役割分担と並び、タイムスケジュールは支援の進行管理を行う上で重要であり、特にニーズに対する支援の手順は仮の案として会議前に策定しておくことは可能であり、課題を整理していく上でも有効であるので、会議前であってもスケジュールを作成しておき、それを持って会議に臨むことが必要であると考えられる。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> 支援計画は分かりやすく作られているか 客観的事実と希望・考えが明確に分けられているか 	<p>限られた期間・手段の中で、積極的に情報収集に努められ、支援計画を細かく作成していると認められる。特に役割分担やタイムスケジュールが具体的に設定されている点は良く、具体的な依頼書面を準備したことも良い。一方、罫線紙にそのまま記載したものであるなど、一部、書式の統一が不十分な点も見受けられるので、事業者として書式等の整備に努める必要があると考えられる。</p> <p>相談支援では、ややもするとサービス中心で調整が進みがちとなるが、インフォーマルな支援も含め、幅広い観点から調整を図っていくことが重要である。今後は、本人・家族の思いを大切にしつつ、事業者として客観的な立場から、様々な選択肢を提供していく必要があると考えられる。</p>	<p>今回のような特異な条件下では、支援計画の作成に戸惑いがあったのではないかとと思われる。しかし、今回の目的は、正しい計画を作ることでなく、いかに情報を集めるかということや、その情報を整理し、自分たちの仮説を持ち、それを本人・家族に示すことであり、そのことに留意する必要があると考えられる。</p>	<p>限られた情報の中で、情報収集に努められ、客観的事実やニーズを整理しながら、支援の流れを作成したと認められる。特に個別支援会議前という条件を考慮し、あくまでも相談支援事業者の考えとして客観的に整理しつつ、本人の思いを酌み取るうとしている点は好感が持てる内容である。</p> <p>相談支援では、できるだけ本人・家族に多くの情報を提供してあげられることが大切であり、そのためには事前の課題整理や支援仮説の検討が欠かせないと考えられる。このため、今後は、訪問や個別支援会議の前に、一歩踏みとどまって課題を客観的に整理し、その内容をもとに支援方法を示していく必要がある。</p>

平成21年度静岡市障害者相談支援事業評価（試行実施）支援内容に基づく評価結果 総括表

評価項目	評価観点	事業者J
本人関係図 (ジェノグラム・エコマップ)	<ul style="list-style-type: none"> ジェノグラムが正しく描かれているか エコマップ内に必要な機関等が過不足なく盛り込まれているか エコマップは立体的に描かれているか 	<p>ジェノグラムについては、家族関係の情報を的確に収集し、情報の範囲内で正しく描けていると認められる。Cとの関係が明確になっている点や、Bの実父母のほか、他の叔父叔母兄弟姉妹についても触れている点は良く、幅広く家族関係を当たっていることが認められる。また、エコマップについては、事例資料に出てくる機関のみならず、Aの出身校・民生委員・保健所・その他の相談機関などにも踏み込んでおり、これらの機関の関係を整理していると認められる。各機関との関係性については、強弱や緊張の度合いが分かりやすく表現されており、矢印による関係の方向性も描けていると認められるものであり、非常に立体的なエコマップができています。さらに、関係機関がグループ（群）ごとにまとめられており、個別の関係性とともグループごとの関係性が見えている点は素晴らしい。</p> <p>ジェノグラム・エコマップは、本人を取り巻く環境や課題を、図式的に把握するための手段であるので、今後も引き続き可視性の高いジェノグラム・エコマップ作成をお願いしたい。</p>
課題明確化	<ul style="list-style-type: none"> 本人の主訴が明確にされているか 解決すべき事項が明確にされているか 本人が主張していない隠れた問題を探し出せているか 	<p>限られた情報から状況把握に努めており、その状況をもとに考えられる課題を客観的に整理できていると認められる。特に本人関係図から課題を見出している唯一の例であり、その方法は模範的といえる。また、母の精神的な問題について、介護軽減の観点で踏み込みができており、保健所・民生委員などの活用についての言及もできている。セーフティーネット確立の課題に言及できている点は素晴らしい。</p> <p>今回の事例のように、状況によっては支援のメニューを示しても、家族がすべて背負おうとするあまり、受け入れを拒否し、サービス利用に繋がらないこともあるので、インフォーマルなものも含めて、総合的にサービス調整を図っていくことが大切である。</p>
支援仮説	<ul style="list-style-type: none"> 支援方法に対する仮説が打ち出されているか 仮説に対する検証方法を明確にしているか 	<p>個別支援会議前という制約の中でも、分かる情報の範囲で課題を検討し、それを実現するための具体的な課題と支援内容・流れ・方法が明確に整理されていると認められる。特に、取組むべき支援が並べられているとともに、支援に困難が生じたときの対応が記されていると認められる。一方、支援のメニューごとの最終的な到達点については、援助の方向性などで整理されていると認められるものの、支援結果を裏付けするための検証基準が不十分であると考えられる。</p> <p>支援を効率的・戦略的に行う上では、予想を定めておき、結果との差を確認しながら支援を展開していくことが大切であるが、本人・家族のニーズを確認する前でもある程度の想定を立てておくことは有効と考えられるので、個別支援会議前であっても、事前の仮説整理に努め、それを持って会議に臨むのも一つの方法であると考えられる。</p>
関係機関リスト	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関リストが作成されているか 関係機関の役割分担が明確にされているか 	<p>関係機関がリスト化されており、どこと連携すれば良いか分かりやすくまとめられており、これら関係機関とエコマップとは整合性があると認められる。また、それぞれの機関の役割について、現段階での役割と希望する役割とに分けられており、どこの機関が何を行うかが具体的に整理されていることは素晴らしい。</p> <p>関係機関リストは、本人や家族等への示す支援の案内書でもあるので、今後も分かりやす言葉・内容で記載し、さらに一覧表を作成しておけば、いざというときに直ぐに活用できるようになり、利便性が高まると思われる。</p>
支援の流れ (タイムスケジュール)	<ul style="list-style-type: none"> 支援の流れが細かく決められているか タイムスケジュールに無理がないか 	<p>支援の流れが定められており、これに基づいて支援が実施されていくものと認められる。支援は身近な課題から順に並べられており、一貫性があると認められるが、具体的な日時が定められていない点は不十分である。</p> <p>タイムスケジュールは支援の進行管理を行う上で重要であり、効果的な支援に欠くことのできないものであるため、今後もスケジュール設定に努めるとともに、各機関の役割や作業具合も勘案し、大まかな支援期間設定をしていく必要があると考えられる。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> 支援計画は分かりやすく作られているか 客観的事実と希望・考えが明確に分けられているか 	<p>限られた情報の中で、情報収集に努められ、客観的事実や支援者の視点を整理しながら、支援の流れを作成したと認められる。特に具体的な課題整理が十分にできている。また、エコマップを作成するだけではなく、それを課題の整理に活用している点は素晴らしく、模範的である。さらに、個別支援会議ができないという制約はあったものの、個人のニーズに十分に配慮しながら支援計画を策定しようとした点からは、日ごろより本人の思いに添った支援を行っていることがうかがい知れる。</p> <p>相談支援では、できるだけ本人・家族に多くの情報を提供してあげられることが大切であり、そのためには事前の支援仮説の検討が欠かせない。今後は、訪問や個別支援会議の前に、一步踏みとどまって課題を客観的に整理し、その内容をもとに支援方法を示していくことも、方法の一つとして考慮すると良いと思われる。</p>